我が家のアイドル

内田翔くん６歳　景くん３歳

お爺ちゃん　中山　泰さん（志木）

お婆ちゃん　中山　佐智子さん

ひとこと　兄弟仲良くね！

1/3008

早期発見健康診断が大事

高橋稔さん　75才（朝霞北分会）

今月は、支部共済部長の高橋稔さんを紹介します。昭和19年2月に名古屋熱田神宮のそばで、2人兄弟の長男として生まれました。親はかいこの桑のかごを作っていたかご職人でした。家が貧しかったので、中学を卒業して職人募集で、東京都江東区の左官屋に丁稚奉公で10年間働き、25才で独立した時に朝霞に来ました。景気が良かったので、仕事もたくさんあって休みがない位働きました。すぐに浜崎に家を買いました。朝から夜遅くまで働いて2年で借金を返済し、27才の時に和光のおばさんの紹介で新座に住んでた奥さんと結婚しました。子どもは一男二女の3人です。現在は3人とも独立しています。

埼玉土建には、30才の時、和光のラス屋さんの紹介で加入して、しばらくして分会の役員をする様になって、家で分会の役員会議等をやる様になり、その後支部の役員をやる様になって、社保対部長を20年以上やっていましたが、共済部長をやっている74才の時に健康診断で食道がんが見つかりましたが、「早期の発見ですぐに手術をして切除し抗がん剤も弱い物を今も飲んでいます。土建国保に入っていて病院の費用も助けてもらって大変良かったです。今後は健康ランドに行ったり、仕事がある時は働いて、動ける間は組合に恩返しのつもりで、役員をやらしてもらいます。」と話してくれました。

【根岸　岩渕信雄】

支部役員は 20 年以上

我がふるさと

～北海道函館市～

私が生まれた時から身近に有り、名の有り史跡などと知る由も無く遊び場の一つだった。大人になって五稜郭の由来に興味をもって知ったことは、一八五四年ペリー来航に始まる、ペリーは幕府に日本に有るいくつかの港を開港するよう求めた。その中に箱館港（現在は函館港）も含まれていて、危機を感じた函館奉行は港の近くに有った奉行所を、大砲の弾が届かない奥地に移して築城した。（当時は城と呼ばれた、更に大砲の弾は届く距離だったそうだ）、結果ペリーが来る事は無かった。江戸幕府が大政奉還し明治政府が誕生した時、新政府に反感をもった旧幕府海軍の将、榎本武楊が五稜郭に立てこもり新政府に反旗をひるがえした。これに同調した新選組の土方歳三他、生き残った戦士たちも加わり函館戦争の始まり、この戦いの主戦場は港へ入る手前の岬であり、結果政府軍の勝利で終わり、五稜郭で戦火を交えた事は一度もなかった。今は五稜郭公園とよばれていて有名なのは桜、園内に入り、橋を渡ると藤棚のトンネルを抜けると、中央広場に数本の松の木があるだけであとは全部桜。年中行事のひとつで20万市民の半数は花見に行く。上野の様に場所取りの心配はない、なぜなら堀の内側は東京ドームの5倍の面積があり、時期もちょうど春のゴールデンウィーク。

【根岸　雛田谷康明】

春には桜が・・史跡五稜郭

芝刈りロボット「オートモア」

埼玉の某メーカーの工場内で見つけたルンバの芝刈り版　スウェーデンハウスクバーナ社製　自分で充電 24H 動く

志木分会　廣田紀夫